

2011.07.2

ご支援をいただいたみなさま

お父さんたちのネットワーク世話人
石垣政裕

支援物資のご報告No.9

PCの支援

まず大崎市立鹿島台小学校へ

おやじの会がノートPCの支援をしているということで、いくつかのつながりの中で要請が来ております。鹿島台のノード(おやじの会の支援基地)で調整に汗を流していただいております。

被災地の小学校の他にも、津波で流された教員がいらっしやるとのことで、鹿島台おやじの会の照井さんから地元鹿島台小の先生2名にPCをお渡ししたところ、校長先生より感謝のお言葉をいただいたとの報告をいただきました。

次に石巻市立稲井小学校へ

先日プリンターをお届けした稲井小学校へ、今回はやっとノートPCを4台を届けることができました。

また、雄勝小学校で被災した先生が稲井小学校へ来て授業をしています。週に1度、石巻市管内4校を巡回しているそうで、とにかく身一つしかないとの事のできるなら支援をお願いしたいとのことでした。この先生にもお届けしました。



稲井小学校校長先生と先生方

先生からは直筆のお礼状が届いております。ここで全文を紹介することはできませんが、雄勝は町の9割が津波にのまれ、先生は子どもたちを無事に避難させることで精一杯で手にはノートと筆箱だけしか持っていなかったこと。訪問する4校でコンピュータを借りて資料を作成していることが詳しく書かれております。そして「支援していただいたコンピュータは職務遂行のために、有用に活用させていただきます。」と綴られております。ああ、おやじたちよ汗が報われますね。

そして石巻市大街道小学校へ

以下、大街道小学校へ届けた照井さんのレポートです。

鹿島台小学校の校長先生のご紹介により、石巻市大街道小学校へPCの支援品をお届けしてまいりました。

大街道小学校は、1階の床上浸水にとどまったのですが、先生方の通勤用の車は、すべて流され、いまだに1/3の先生しか車を調達できていないそうです。また先生、児童のなんと80%の方が津波の被害にあい、学校から転出された児童も50名以上にのぼるそうです。ヘドロの影響で校庭も使えず、また体育館も避難所になっているため(まだ100名以上の方が避難されているようで、校庭に自衛隊のテント風呂が設置してありました)子どもたちは「廊下」で体育の授業をしていると、高橋校長先生はおっしゃっておられました。

校長先生は、4月から着任されたそうですが、3月まで「女川第二小学校」に勤務されていたそうで津波の直接被害はなかったものの、避難所としての学校運営にずっとご尽力されていたそうです。高台からみた、津波で家が家を押し流している光景と、その音がいまでも耳にのこっているとの、お話を伺いました。


今回は、18台も綺麗なノートPC(特にB5のコンパクトサイズで持ち運び便利でありがたいとのこと)をご提供いただき非常にありがたい旨御礼のお言葉をいただきました。

大街道小学校の先生方も、避難所としての活動にご尽力された(特に、水に浸かりながら食料の調達に動き回ったそうです。)とのお話も伺いました。ほんとうに想像を絶します。

今回はPCのみでしたが、なにかできることがありましたらおっしゃっていただければできる範囲でさせていただきますと言って失礼いたしました。



大街道小学校へ PC を 18 台運ぶ

たくさんのPCを東北セミコンダクタ株式会社(代表取締役社長 松本 悟 様 URL:<http://www.tohoku-semicon.co.jp/>) および  フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン株式会社(本社:東京都目黒区 代表取締役 David Uze 様 URL:<http://www.freemove.co.jp/>)からご支援いただきました。

また、ソフトウェアはキングソフト株式会社(<http://www.kingsoft.jp/>)からアカデミック版のKINGSOFT OFFICE 2010を提供していただきました。重ねて御礼申し上げます。